

「熊本市立産院の存続を求める」ニュース

～直接請求を成功させるために～

【発行】We Love 産院の会 日本一の子育てをすすめる会
電話 340-0057 FAX 340-0058 kuma-irouren@athena.ocn.ne.jp

第5号
2009年5月1日

ユニセフ・WHOに認定の「赤ちゃんにやさしい病院」

熊本産院を絶対存続させましょう

署名集めに ご協力ください!!

期間は
5月17日まで

産院がなくなると困ります!

昨年の熊本市議会では、今年の12月で廃止と決められましたが、テレビや新聞、インターネットなどで知って、産院を頼ってられています。「是非ここで産みたい」と12月出産予定のお母さんや、「せめて12月までこの教育を受けたい」と1月出産予定のお母さんたちなどです。

▼ここで出産されたお母さんの声▼

高齢初産の私は、産院の先生方の適切な治療とスタッフの皆さんのアドバイスや励ましで、仕事を続けながら妊娠期を乗り越え、子どもと二人、どちらも元気に退院できました。

スタッフの皆さんの献身的な支えに感謝しています。この産院を廃止しないでください。

市民病院と熊本産院は

「車の両輪」

赤ちゃんにとってとても大切な
ものです

市民病院は、小さく産まれた赤ちゃんを救うために、絶対必要です。

でも、早産予防をきめ細かく指導、心身ともに支え、自然に育った出産と育児のノウハウをお母さんに伝える熊本産院は、一朝一夕にできたものではありません。

赤ちゃんにとって両方必要なのです。

人の命を計算しないでください。



集めた署名簿をもって参加しましょう。
あなたのまわりの受任者にも必ず声をかけてきましょう。

ラストスパート集会
5月11日(月) 19時〜(パレア会議室1)

声をかければどんどんひろがる 署名

A 保育園、B 保育園

熊本東部の2つの保育園。園をあげて受任者に。

早速署名簿を25冊届けました。今署名集めに全力を挙げています。



「集まったしこよ」と受任者になった人

「『これは大切なこと』とみんな署名してくれました。あと5冊下さい」と、署名簿を取りに来られました。

釣り仲間も「わかった!」と受任者に

署名を家族や友人にも集めてもらおうと、受任者用紙と署名簿を10人分預かってくれました。



メーデー会場で

・元熊大病院の看護婦さん

大学の先生や産科の先生にもどんどん訴えて65筆も集めました。

・慣れない人も

署名簿・ペン・朱肉をきっちり持って、何とか集めようと。その気持ちに心打たれました。